



広報用画像1:「生活工房バックヤード展」チラシ

生活工房 バックヤード展

会期：2021年1月23日（土）～2月21日（日）

時間：9:00～21:00

※緊急事態宣言発令を受け、新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため、当面の間、開催時間を20時までに変更いたします。

会場：生活工房ギャラリー（三軒茶屋・キャロットタワー3階）

入場無料 月曜休み（祝日はのぞく）

基本情報

展覧会名：生活工房バックヤード展

会 期：2021年1月23日（土）～2021年2月21日（日）
月曜休み（祝日はのぞく）

時 間：9:00～21:00

※緊急事態宣言発令を受け、新型コロナウイルス感染症拡大抑制のため、当面の間、開催時間を20時までに変更いたします。

会 場：生活工房ギャラリー

東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー 3階

TEL 03-5432-1543 / FAX 03-5432-1559

<https://www.setagaya-ldc.net/program/503>

交通案内：東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅直結
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合がございます。お出かけの前に、最新情報を生活工房ホームページでご確認ください。

主 催：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

後 援：世田谷区、世田谷区教育委員会



広報用画像 2

生活工房のバックヤード（写真：アカセユキ）



広報用画像 3

生活工房ワークショップルーム A 準備室

（写真：アカセユキ）

概要

2020年は、どういう年として記憶されるのでしょうか。国内だけでも、新型コロナウイルスの流行、東京オリンピックの延期、総理大臣の辞任など、枚挙に暇がありません。

激動の年、生活工房も例外ではありませんでした。予定していた展覧会やイベントの中止、延期、縮小、変更。暮らしの「根っこ」を掘りおこしてきた生活工房、その足元をみつめる一年になりました。どうやら私たちは非常事態にならないと、いつもの「生活」に気づかないようです。

今回の展覧会では、生活工房のバックヤードに眠っていた約 200 点のアレやコレを引っ張り出します。開館前につくられた街歩き本、イベントを記録した VHS、いつかの展覧会の忘れ物。さらに中止になってしまった企画の顛末や、これからはじまる企画の展望もご紹介します。

生活について考えてきた 23 年間。生活という営みの多くが特別な活動ではないことに似て、生活工房のバックヤードに眠るのも、何気ないモノばかりです。本展では、見過ごしがちな事々物々を振り返りながら、これからの生活を考えるヒントを探ります。

見どころ

- (1) 1997年の開館以来、溜め込んだ資料およそ200点を展示
- (2) 聖火の炎、1964年のホームステイ…中止になった企画展の一端をご紹介します
- (3) 一部リニューアルした「生活工房ギャラリー」のロビーを初公開



広報用画像4
生活工房所蔵の映像資料

主な展示内容

- (1) 生活工房のバックヤードより
VHS やフロッピーディスク、過去の事業チラシ、ポスター、写真、書籍などおよそ200点

- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった展覧会
〈火と人の日々展〉

東京オリンピックの聖火が東京を走る14日間に、火と人間の長い関わり合いを考える展覧会。会場では参加型の企画を多数予定していたこともあり、残念ながら中止となりました。本展では、企画を形づくるまでになされた議論の場を再現し、展覧会というアウトプットを模索する様子をご覧ください。また、火と人の結びつきが見て取れる世界各地の民族学映像12本もループ上映します。



広報用画像5
「火と人の日々」展より

〈1964年のホストファミリー展〉

1964年の東京オリンピックでも盛り上がった「民泊」。現在でいう「ホームステイ」に近いこの民泊制度について、2020年7月に展覧会で紹介する予定でした。残念ながら、取材を申し込んだ関係者をご高齢の方も多く、十分な調査が叶わないことから中止となりました。調査の過程で集まった資料の一部や、写真、そして当時のニュース映像をご紹介します。



広報用画像6
「ホストファミリー」展より
1964年10月22日撮影（提供：東京都）

- (3) 一部リニューアルした「生活工房ギャラリー」とロビーを初公開
新進気鋭の建築家・板坂留五（RUI Architects）の設計で、生活工房ギャラリーおよびロビーを一部リニューアル。ギャラリーでありながら通路としても機能している空間を読み取り、カーペットや壁面といった細かな改修と、組み合わせることで展示台、パネル掲示、チラシラックとして展開可能なユニークなラダー（はしご）型の什器製作を行いました。

板坂留五（いたさか・るい）

建築家。1993年、兵庫県生まれ。2016年東京藝術大学美術学部建築学科卒業。2018年同大学大学院美術研究科建築専攻修士課程修了。2018年独立。現在、東京藝術大学非常勤講師。主な作品に、《半麦ハット》（2019、西澤徹夫と共同）、《TANNERAUM》（2020）、「世田谷クロニクル 1938-83」展会場構成（2020、生活工房）など。



広報用画像7
床面がツートーンになった
生活工房ギャラリー

報道関係者各位

関連イベント

バックヤード・ツアー！

スタッフが生活工房のバックヤードと全フロアをご案内します。

希望者には生活工房アニュアルレポート 10年分（計10冊／約1.8kg）もプレゼント！23年の月日が流れた文化施設をご覧ください。

日時 | 2月7日（日） 14:00～14:30

会場 | 生活工房3～5F

集合場所 | 生活工房ギャラリー

参加費 | 無料

定員 | 10名（先着）

申込方法 | 生活工房ホームページの申込フォーム

または電話（03-5432-1543）にて



広報用画像 8
生活工房のバックヤード（写真：アカセユキ）

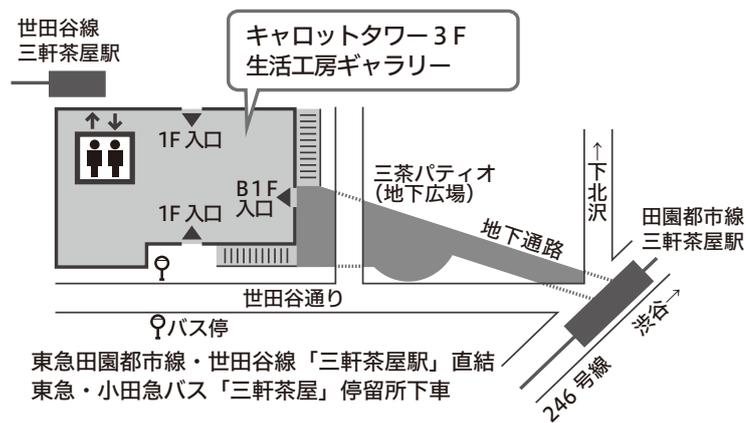


広報用画像 9
生活工房アニュアルレポート過去10年分

画像ご使用等のお願い

- ・画像の使用は、本事業の広報に関するものに限りませう。
- ・使用後のデータは破棄してください。
- ・お手数ですが、基本情報確認のため掲載前に一度原稿をお送りください。

交通アクセス



広報用画像 10
展示やWSの道具を整理するためのボックス
ワークショップルームAの準備室で使用

本事業についてのお問い合わせ

公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー

<https://www.setagaya-ldc.net>

TEL：03-5432-1543 FAX：03-5432-1559 MAIL：info@setagaya-ldc.net

事業担当：佐藤史治、中村幸 広報担当：石山那緒子



広報用画像 11
2010年に開催したバスツアー企画で使用した旗